
2024年度 通期 業績 決算説明資料

先生と患者さんに喜ばれたい



2025年2月12日

■会社概要	3
■通信販売事業カタログ	4
<u>2024年度 通期業績</u>		
■業績概要	6
■2024年度 主なトピックス	8
■事業別売上高・総利益	10
■歯愛メディカル事業の売上高・総利益	11
■ニッセン事業の売上高・総利益	13
■参考データ	14
■販売費及び一般管理費	15
■貸借対照表	16
■キャッシュフローの状況	17
■設備投資・減価償却費	18

2025年度 通期業績予想

■通期業績予想	20
■年間配当(予想)	21

APPENDIX

1. セグメントの変更について	23
2. 旧ロジスティクスセンターの活用について	24

注記事項

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

企業名	株式会社歯愛メディカル
本店所在地	石川県白山市鹿島町一号9番地1
代表者	代表取締役社長 清水 清人
設立	2000年1月
資本金	1,000万円
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:3540)
従業員数	2,166名(うち、臨時雇用者数 1,052名) (連結2024年12月末)
拠点	<p><ショールーム> 東京、大阪、岐阜羽島</p> <p><営業拠点> 札幌、仙台、東京、長野、名古屋、大阪、広島、福岡、鹿児島</p> <p><その他拠点> Ci CAD/CAMセンター 3D Design Lab(石川)</p>
経営理念	先生とその患者さんに喜ばれたい。 更に社員、取引先に喜んでもらえる会社になりたい

当社は歯科医院や歯科技工所を中心に、各種医療機関への通信販売等を主たる業務としております。経営理念のもと、徹底した「お客様視点」を重視し、全国およそ6万軒の歯科医院に納品、歯科業界での歯ブラシ販売本数、また歯科通販売上高ではトップシェアとなっております。

カタログ通販

通信販売用カタログを年1回～数回発行

更に適宜、毎月1回以上のセール、DM等により、顧客ニーズに細かく対応しています



歯科医院向け



歯科技工所向け



介護・福祉施設向け



動物病院向け



病院・一般診療所向け



幼稚園・保育園向け



理美容・エステサロン向け



調剤薬局向け



歯科医院向け



クリニック向け

2024年度 通期業績

2024年度 通期 連結業績概要

- ✓ 通販事業、大型医療機器販売事業、CAD/CAM関連事業等において売上高が堅調に拡大、
加えてニッセンHDを当第3四半期から連結したことの影響により、売上高、総利益および総利益率が大幅に拡大。
- ✓ 新本社ロジスティクスセンター竣工(2023年10月)により同センターに係る減価償却が開始するとともに、
同センター完全稼働までの移行期間は新旧センター並行稼働により販管費が増加。(同センターは経済産業省より
サプライチェーン補助金の採択を受けており、2025年12月期に補助金額の確定を想定しております)
- ✓ ニッセンHDを買収取得した際の会計上の特別利益の計上により、当期純利益が大幅に拡大。

(単位:億円)	2023年度		2024年度		増減		2024年度 通期予想	
	実績	売上構成比	実績	売上構成比	金額	前年比	予想	進捗率
売上高	456.3	100.0%	674.9	100.0%	+218.7	147.9%	675.5	99.9%
総利益	119.9	26.3%	212.9	31.5%	+92.9	177.5%	—	—
営業利益	29.9	6.6%	24.9	3.7%	▲5.0	83.4%	23.5	106.2%
経常利益	33.0	7.2%	26.2	3.9%	▲6.7	79.6%	24.8	105.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20.8	4.6%	62.7	9.3%	+41.8	300.9%	61.3	102.2%
1株当たり 当期純利益(円)	41.65	—	125.34	—	—	—	122.62	102.2%

2024年度 通期 連結業績概要 ニッセンHD連結による影響額



- ✓ クロスセル開始により、取扱い商品の拡充や新たなお客様へのアプローチにチャレンジするとともに、業績回復のための徹底した経費削減に取り組んでおり、当第4四半期において黒字化を達成。
- ✓ ニッセンHDを買収取得した際の会計上の特別利益45.1億円の計上により、当期純利益の大幅拡大に寄与。(当第3四半期時点においては、企業結合日における識別可能資産及び負債の特定を精査中で、取得原価の配分が未完了であったため、47.4億円を暫定値として計上)

(単位:億円)	2024年 6月~8月		2024年 6月~11月		主な要因
	実績	売上構成比	実績	売上構成比	
売上高	84.9	100.0%	177.3	100.0%	衣料品関連は季節性の影響を受けるため、冬季は夏季に比べて売上・利益ともに増加する傾向にあります。
総利益	39.9	47.0%	85.0	48.0%	
営業利益	▲3.0	—	6.0	3.4%	
経常利益	▲2.2	—	6.6	3.7%	
親会社株主に帰属する当期純利益	44.5	52.5%	50.3	28.4%	

ニッセンHDを買収取得した際の会計上の特別利益計上額
45.1億円

- 令和6年能登半島地震が発生
新本社ロジスティクスセンター及び本社事務所等の建物及び設備への被害が多少発生した中、
一次避難所として地域の方へ開放
1月 歯ブラシ、除菌ウエットティッシュ、洗口液等の必要物資を被災地に提供
- また、被災地域の歯科医院様、福祉介護施設様等に対して義援金並びに飲料水、歯ブラシ、
除菌ウエットティッシュ等の支援物資を提供
-
- 2月 Ciデンタルショーin名古屋を開催
-
- 4月 Ciデンタルショーin大阪を開催
-
- 5月 新本社ロジスティクスセンターについて、3月末に歯愛メディカル本体の移転が完了し、5月
末に当社子会社(株式会社デンタルフィット)を含めた完全移転が完了したことで、旧センター
との並行稼働は終了
-
- 6月
- ・韓国Imagoworks社と資本業務提携契約を締結
 - ・歯科分野のDX化において、今後さらなる取り組み強化を予定
 - ・Ciデンタルショーin福岡を開催

7月

ニッセンHDの全株式を取得
通信販売事業の拡大に向けて取り組みを開始

9月

Ciデンタルショーin東京を開催

10月

- ・Ciデンタルショーin神戸を開催
- ・福利厚生制度として企業型確定拠出年金(DC)を導入

11月

流通株式比率の改善を目的として、株式の立会外分売を実施

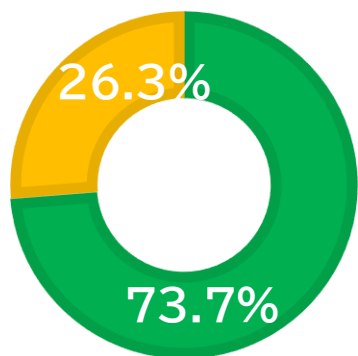
12月

- ・白鳩の株式を公開買付けにより取得し、子会社化
通信販売事業の拡大に向けて取り組みを開始
- ・中期経営計画(CiX2027)を策定

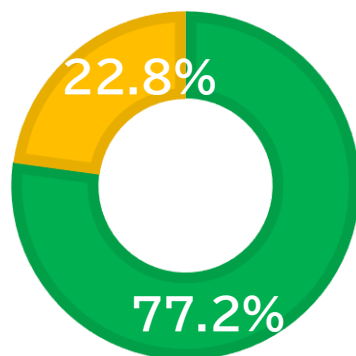


主要都市でデンタルショー開催
大型医療機器販売が好調に推移

売上高



営業利益



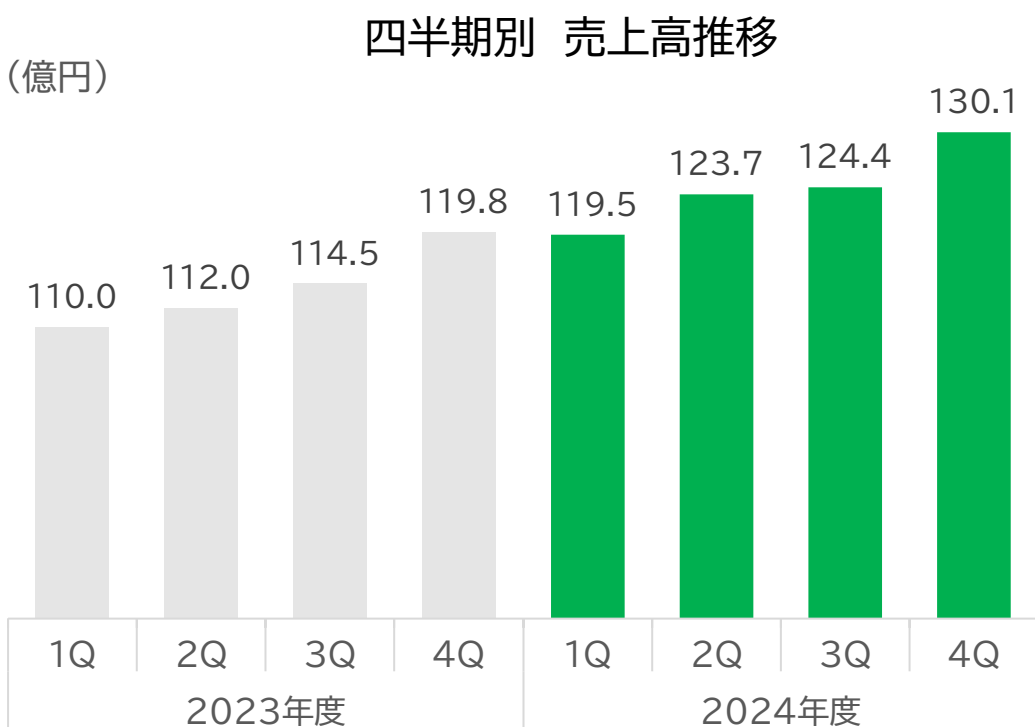
■ 歯愛メディカル事業 ■ ニッセン事業

ニッセン事業が黒字化、
歯愛メディカル事業は売上高・総利益ともに前年比を上回る

- ✓ 当第4四半期からセグメントを変更(詳細は23ページ記載)。
- ✓ 当第3四半期よりニッセンHDを連結したため、ニッセン事業は6か月分を計上。
- ✓ 歯愛メディカル事業は通販事業、その他事業ともに売上高が好調に推移。
- ✓ 新本社ロジスティクスセンターに係る減価償却が2023年9月より開始したこと等により、歯愛メディカル事業の営業利益が減少。

(単位:億円)		2023年度	2024年度	増減	
				金額	前年比
歯愛メディカル事業 (1月~12月)	売上高	456.3	497.7	+41.4	109.1%
	総利益	119.9	127.9	+7.9	106.6%
	営業利益	29.9	20.4	▲9.5	68.3%
ニッセン事業 (6月~11月)	売上高	—	177.3	—	—
	総利益	—	85.0	—	—
	営業利益	—	6.0	—	—

2024年度 通期 歯愛メディカル事業の売上高

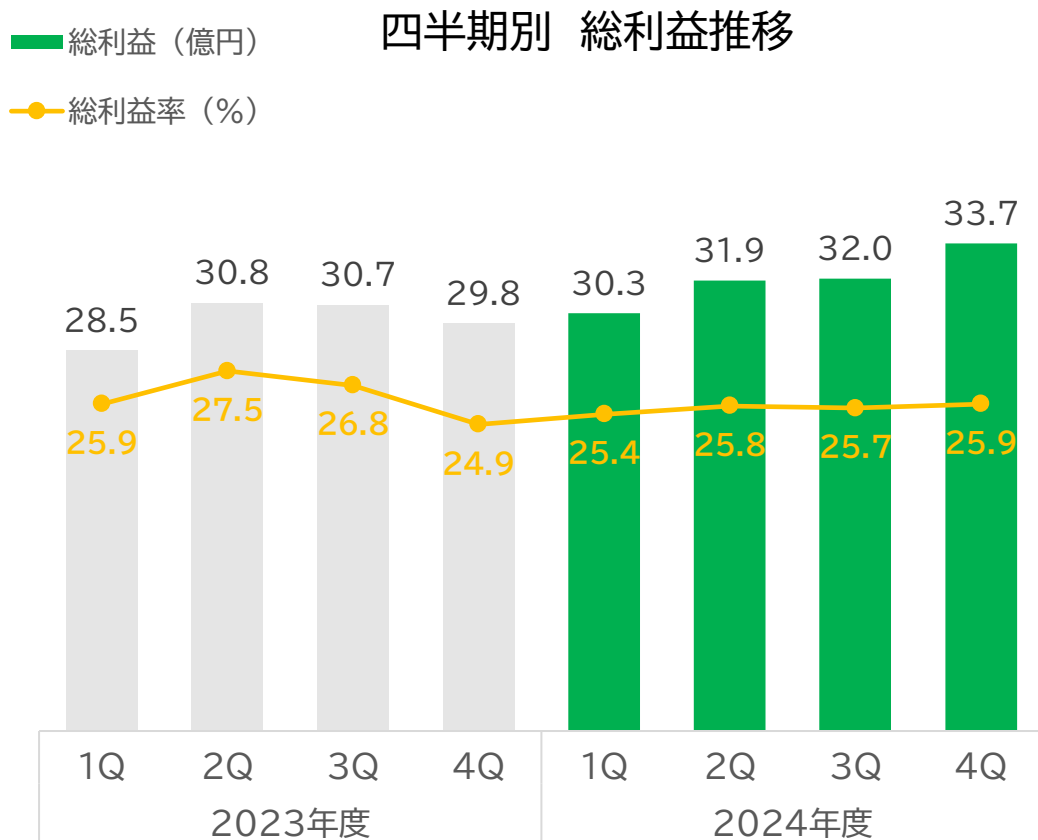


通販事業、その他事業ともに全体的に好調に推移

- ✓ 2024年6月、11月発刊の歯科総合カタログでの価格改定を実施。歯科以外も順次対応済み。
- ✓ 主要都市でのデンタルショー開催等により、大型機器販売が好調。
- ✓ 新本社ロジスティクスセンターの能力増強により、これまで以上に販促を打つことが可能になった。
- ✓ 2024年6月の保険収載に伴い、口腔内スキャナの販売台数が大幅に伸長。技工物のデジタル化に伴い、技工所向けのCADソフトウェアの販売も大きく伸びた。
- ✓ 電力価格高騰が落ち着き、電力売上収益は増加。「Ciでんき」も営業を強化し、新規申込数が増加。ニッセンのお客様からも見積依頼や申込有。

(単位: 億円)		2023年度	2024年度	増減	
				金額	前年比
通信販売事業	歯科関連	364.1	386.3	+22.2	106.1%
	歯科関連以外	59.0	66.4	+7.4	112.5%
その他の事業	CAD/CAM関連事業 (技工用機器・システム販売、技工物製造)	30.6	41.0	+10.5	134.3%
	電力小売取次	1.0	2.0	+1.0	207.4%
	デジタル・ソリューション・サービス (HP作成代行サービス、クラウド型予約システム販売)	0.8	1.1	+0.3	136.4%
	その他	0.8	0.9	+0.1	108.0%

2024年度 通期 歯愛メディカル事業の総利益

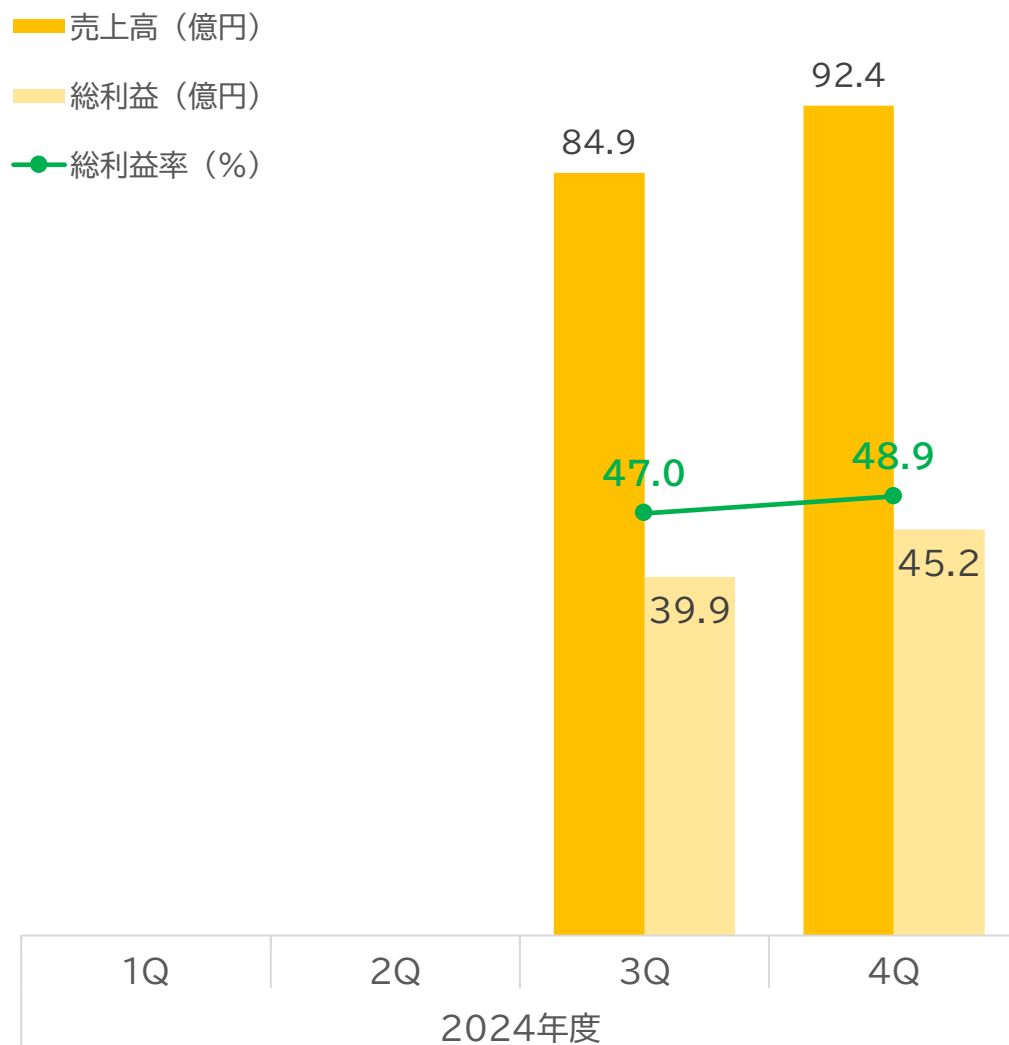


為替の影響を受けつつも、
通販事業のお客様を支える「その他の事業」が好調

- ✓ 歯科総合カタログでの価格改定を年2回実施。
- ✓ 円安、原材料高の影響により総利益率は減少。
- ✓ デジタルソリューションサービス(その他の事業)では、クラウド型予約システム販売やHP作成代行サービス等、全体的に好調に推移。10月からはMEO対策サービスもリリースし、好調が継続。
- ✓ 電力小売取次(その他の事業)は、電力市場価格高騰の影響を受け前期一時的に赤字の状態が続いたこと、一方今期は営業活動を強化したこと等により、前年比で大幅に伸長。
- ✓ 電力取次(売上収益=総利益)以外の事業も大きく伸長したため、対前年比でその他の事業の総利益率が減少。

(単位:億円)	2023年度	2024年度	増減	
			金額	前年比
通信販売事業	106.1	108.3	+2.1	102.0%
その他の事業	13.8	19.6	+5.8	142.1%

四半期別 推移



残暑や競合環境の影響を受けつつも、当第4四半期において売上高・総利益ともに拡大

- ✓ 当第3四半期からニッセンHDを連結。
- ✓ ニッセン事業は季節性により、冬季に売上・利益が拡大。
- ✓ 2024年度は、経路依存からの脱却と感動を創造することを方針として事業の磨き上げを行い、通信販売の既存客のリピート率と客単価は前年比で改善。

12月末時点
ご登録お客様数

前年同期比 105.6%

年間受注件数

前年同期比 104.7%

年間DM発行通数

前年同期比 89.3%

✓ 上記は、歯愛メディカル単体の数値となります。

2024年度 通期 販売費 及び 一般管理費

(単位:億円)	2023年度	2024年度		増減		主な要因
		うち ニッセン事業	金額	前年比		
給与手当	15.1	29.9	13.6	+14.8	197.7%	賃上げ実施の一方、新本社ロジスティクスセンターの設備自動化等に伴い倉庫人件費は減少
倉庫人件費	8.1	5.8	—	▲2.3	72.0%	
広告宣伝費	6.7	12.8	6.6	+6.1	191.2%	前期は新本社ロジスティクスセンター本格稼働を見据えセールに注力していたこともあり、当期は減少したものの、ニッセン連結により増加
荷造運賃発送費	22.5	36.1	12.9	+13.6	160.6%	売上増加に伴う出荷量の増加、新旧ロジスティクスセンター並行稼働に伴う荷造運賃の増加等
減価償却費 ※	9.0	21.0	0.2	+11.9	231.7%	新本社ロジスティクスセンター竣工により2023年9月より同センターに係る減価償却が開始
のれん償却	0.7	0.7	—	±0.0	100.0%	2022年度に連結した歯科技工子会社に係るのれん償却費
その他	27.9	81.7	45.8	+53.8	292.6%	ニッセン、白鳩連結に伴うM&A関連費用の計上等を含む
合 計	90.0	187.9	79.0	+97.9	208.7%	ニッセン連結により全体的に増加
従業員数	473	1,114	543			
臨時雇用者数	584	1,052	551			

※経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の金額確定は今期中(2025年12月期)を想定しており、対象固定資産の圧縮記帳の影響(減価償却費の減額効果等)は、今期の業績に反映されることを想定しております(2023年度および2024年度は、圧縮記帳前の固定資産価額を基礎として減価償却計算を行っております)。

貸借対照表

(単位:億円)		2023年 12月末	2024年 12月末	増減	
				金額	前年比
流動資産	178.5	303.4	+124.9	170.7%	
固定資産	236.6	328.3	+91.7	138.8%	
資産	415.1	631.7	+216.6	152.8%	
流動負債	208.7	329.9	+121.2	158.1%	
固定負債	5.0	27.8	+22.8	558.0%	
純資産	201.4	274.0	+72.6	136.0%	
負債・純資産	415.1	631.7	+216.6	152.2%	
自己資本	200.6	261.0	+60.4	130.1%	
自己資本比率	48.3%	41.3%	—	—	
現預金	17.0	41.2	+24.3	242.8%	
売掛債権・未収入金	66.9	90.3	+23.4	134.9%	
棚卸資産	85.9	156.4	+70.5	182.0%	
仕入債務	17.3	85.3	+68.1	494.4%	
有利子負債	171.9	212.1	+40.2	123.4%	

キャッシュフローの状況

(単位:億円)	2023年度	2024年度	増減
営業キャッシュ・フロー(①)	▲1.6	61.5	+63.1
投資キャッシュ・フロー(②)	▲98.0	▲41.1	+56.9
財務キャッシュ・フロー(③)	98.3	3.8	▲94.5
キャッシュ・フロー合計(①+②+③)	▲1.3	24.2	+25.5
現金及び預金などの期末残高	17.0	41.2	+24.3
フリーキャッシュ・フロー(①+②)	▲99.5	20.5	+120.0

2024年度 通期 設備投資・減価償却費

(単位:億円)	2023年度	2024年度	増減
設備投資※	88.5	12.3	▲76.2
減価償却費	9.5	22.6	+13.1

※主な設備投資: 新本社ロジスティクスセンター用地(石川県能美市にて建設・竣工)

2025年度 通期業績予想

2025年度 通期 連結業績予想

	2025年度 上期		2025年度 下期		2025年度 通期	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
(単位:億円)						
売上高	461.1	189.6%	488.9	113.2%	950.0	140.8%
営業利益	18.4	187.3%	22.9	151.9%	41.4	165.8%
経常利益	19.2	197.3%	23.5	142.5%	42.7	162.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	16.0	276.7%	15.3	26.9%	31.3	49.9%
経常利益率	4.2%		4.8%		4.5%	
一株当たり当期純利益	31.96円		30.61円		62.57円	

- ✓ 補助金額の確定に伴う圧縮記帳は2025年度上期に実施予定のため、圧縮記帳後の固定資産価額を基礎として計算した減価償却費の12か月分を計上しております。
- ✓ 下期および通期の当期純利益が前年比で大幅に減少している主な要因は、2024年12月期第3四半期において、ニッセンHDを買収取得した際の会計上の特別利益を計上したことによるものとなります。

	1株当たり連結純利益および配当金					
	(単位:円)	2023年度 (実績)	⇒	2024年度 (実績)	⇒	2025年度 (予想)
1株当たり連結純利益		208.27※	⇒	125.34	⇒	62.57
中間配当金		0.00	⇒	0.00	⇒	0.00
期末配当金		25.22	⇒	12.53	⇒	未定
年間配当金		25.22	⇒	12.53	⇒	未定

※当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。
2023年度(実績)については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

配当性向目標：連結純利益の10%

現時点では配当予想額は未定ですが、次期以降の剰余金の配当については、経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の入金による財務体質の向上を見込んでいることから、そうした状況等も勘案した上で、利益配分に関する基本方針の見直しを検討してまいります。

APPENDIX

グループ経営の効率化を図るため、
従来「通信販売事業」および「その他の事業」に区分されていた事業を「歯愛メディカル事業」に統合し、
「ニッセン事業」および「白鳩事業」を追加いたしました。

セグメント	関係会社
歯愛メディカル事業	歯愛メディカル、デンタルフィット、デミライン、RayVision、 Ciロジスティクスセンター、サクラ歯研、TDS、ナイキ歯研
ニッセン事業	ニッセンHD、ニッセン、ニッセンライフ、アド究舎、 マロンスタイル
白鳩事業	白鳩 ※BS連結は2024年12月期、PL連結は2025年12月期となります。



旧ロジスティクスセンター(石川県白山市)を
グループサプライチェーンの最適化を目的として
当第4四半期より再稼働しております

旧ロジスティクスセンターの業務内容

ニッセングループの物流受託(一部)、3PL事業の拡大

再稼働の狙い

- これまで割高な外部倉庫に外注していた出荷・保管等の物流業務を受託することで、当社グループ全体のコストダウンを図る。
- 新ロジスティクスセンターの将来的な活用方法を見据え、旧ロジスティクスセンターも現在から稼働させることで、さらなる出荷・保管能力の増強に繋げる。

再稼働による業績への影響

外注にかかるコストの削減

先生と患者さんに喜ばれたい

Cjメディカル